

シラバス

科目名	映像技法		担当者名	鈴木 新吾、相澤 一喜、古川 農	
学 科	映像メディア学科 放送メディアコース		授業方法	実習	
認定単位 開講学年	2単位 1学年	開 講 期 必・選	前 期 必選	授 業 時 間 数	72時間
授業目的	個人の技術の向上と、自由な発想で映像表現し、他者による評価や反応で表現力を深める。				
授業目標 (ラーニング アウトカムズ)	物語性のある映像作品を個人、少人数で制作し、企画、シナリオ、演出、撮影、編集までの行程を学習し総合的な技術を高める。				
授業概要	前期は個人の技術向上を中心に課題を与え、映像のみで状況や感情を表現する方法を学び、後期には少人数で映像作品を制作しyoutubeなどに公開、自己表現と他者へ向けた映像表現の違いを学ぶ。				
授 業 計 画 表	授業内容			授業内容	
	1	オリエンテーション	19	CM作成企画発表	
	2	オリエンテーション	20	CM制作グループ構成	
	3	オリエンテーション	21	CM制作撮影	
	4	ガイダンス	22	CM制作撮影	
	5	カメラの種類、撮影技法(アングル、サイズ)についての講義	23	CM制作撮影、編集	
	6	カメラフォーマットの違い、スマホ撮影の講義(フルHD、4K)	24	CM制作プレビュー、ディスカッション	
	7	カメラフォーマットの違い、スマホ撮影の講義(フルHD、4K)	25	CM制作完成プレビュー、総評	
	8	個人作成ショートムービー企画	26	ショートムービー企画	
	9	個人作成ショートムービー企画発表	27	ショートムービー企画	
	10	個人作成ショートムービー撮影	28	ショートムービー撮影準備	
	11	個人作成ショートムービー撮影	29	ショートムービー撮影	
	12	個人作成ショートムービー編集	30	ショートムービー撮影	
	13	個人作成ショートムービー編集	31	ショートムービー撮影、編集	
	14	個人作成ショートムービー発表	32	ショートムービープレビュー	
	15	個人作成ショートムービー発表、総評	33	ショートムービー完成プレビュー、総評	
	16	CM制作概要説明、企画コンテ作成	34	まとめ	
	17	CM制作企画コンテ作成	35	まとめ	
	18	CM作成企画発表	36	まとめ	
成績割合	テスト	0%	学習FB方法	前期・後期 成績表送付	
	学習態度・出席率	30%			
	レポート	70%	成績評価	出席率80%以上 S90~100点 A80~89 B70~79点 C60~69点 D59点以下は不合格	
	合計	100%			
P/R/A/G割合	P<<課題解決型学習>>60% R<<実働実践型学習>>20% A<<主体的参加型学習>>20% G<<海外体感型学習>>0%				
講師プロフィール	ミュージックビデオの監督としてキャリアをスタートさせ、現在はニッスイ、資生堂、明治などのWEB CM、SNS広告で監督を務めている。				

シラバス

科目名	音響 I		担当者名	秋元 孝夫、相澤 一喜、古川 農	
学 科	映像メディア学科 放送メディアコース		授業方法	講義	
認定単位 開講学年	2単位 1学年	開講期 必・選	必選	授業時間数	72時間
授業目的	テレビ、放送、ポストプロダクション業界で必要な音声、音響に関する知識、理論を学ぶ。				
授業目標 (ラーニング アウトカムズ)	実際に聞こえる音(心理音響)～電気音響(アナログ信号)～デジタル分野、無線電波まで音に関する基礎的な知識を広く身につける。				
授業概要	講義形式で展開、第一録音スタジオ、TVスタジオ等にて一部実演あり。				
授業計画表	授業内容			授業内容	
	1	オリエンテーション	19	インピーダンス	
	2	オリエンテーション	20	インピーダンスの整合	
	3	オリエンテーション	21	音声分配、分岐システム、ADA、スプリッタ	
	4	音について	22	中継、収録システム	
	5	音の三要素	23	スタジオマルチトラック録音	
	6	音の聞こえ方、感じ方、人の聴覚特性	24	ダイナミクスエフェクトについて、コンプ、リミッタ、ゲート、エキスパンダ	
	7	音波、波長、波形	25	サラウンドシステム	
	8	音声信号＝電気信号	26	デジタルオーディオ	
	9	バランス回路、伝送、位相について	27	デジタルオーディオ伝送、記録	
	10	電気を音にする、スピーカーのしくみ	28	デジタルオーディオデータ、ファイル	
	11	スピーカーシステム	29	FPU/ワイヤレスシステム	
	12	音を電気に変える、マイクの特性、種類、用途	30	FPU/ワイヤレスシステム	
	13	ダイナミックマイクの仕組み、特性、用途	31	MAについて	
	14	コンデンサマイクのしくみ、特性、用途	32	MAの概念と作業の進め方	
	15	音の大きさ、デシベル	33	適正テレビ音声/ラウドネスレベル	
	16	マイクレベル、ラインレベル、スピーカーレベル	34	まとめ	
	17	PAシステムについて	35	まとめ	
18	増幅回路、各種アンプ、その必要性	36	まとめ		
成績割合	テスト	80%	学習FB方法	前期・後期 成績表送付	
	学習態度・出席率	20%			
	レポート	0%	成績評価	出席率80%以上 S90～100点 A80～89 B70～79点 C60～69点 D59点以下は不合格	
	合計	100%			
P/R/A/G割合	P<<課題解決型学習>>80% R<<実働実践型学習>>20% A<<主体的参加型学習>>0% G<<海外体感型学習>>100%				
講師プロフィール	現役フリーランスエンジニア、ライブ/コンサート収録、PA、スタジオ録音等をこなす。 職務経歴30年以上の経験で、業界で必要な知識と理論を伝える。				

シラバス

科目名	基礎ゼミ I		担当者名	鈴木 新吾、相澤 一喜、古川 農	
学 科	映像メディア学科 放送メディアコース		授業方法	ゼミ	
認定単位 開講学年	4単位 1学年	開 講 期 必・選	後期 必選	授 業 時 間 数	72時間
授業目的	個人の技術の向上と、自由な発想で映像表現し、他者による評価や反応で表現力を深める。				
授業目標 (ラーニング アウトカムズ)	物語性のある映像作品を個人、少人数で制作し、企画、シナリオ、演出、撮影、編集までの行程を学習し総合的な技術を高める。				
授業概要	前期は個人の技術向上を中心に課題を与え、映像のみで状況や感情を表現する方法を学び、後期には少人数で映像作品を制作しyoutubeなどに公開、自己表現と他者へ向けた映像表現の違いを学ぶ。				
授業 計画 表	授業内容			授業内容	
	1	オリエンテーション	19	CM作成企画発表	
	2	オリエンテーション	20	CM制作グループ構成	
	3	オリエンテーション	21	CM制作撮影	
	4	ガイダンス	22	CM制作撮影	
	5	カメラの種類、撮影技法(アングル、サイズ)についての講義	23	CM制作撮影、編集	
	6	カメラフォーマットの違い、スマホ撮影の講義(フルHD、4K)	24	CM制作プレビュー、ディスカッション	
	7	カメラフォーマットの違い、スマホ撮影の講義(フルHD、4K)	25	CM制作完成プレビュー、総評	
	8	個人作成ショートムービー企画	26	ショートムービー企画	
	9	個人作成ショートムービー企画発表	27	ショートムービー企画	
	10	個人作成ショートムービー撮影	28	ショートムービー撮影準備	
	11	個人作成ショートムービー撮影	29	ショートムービー撮影	
	12	個人作成ショートムービー編集	30	ショートムービー撮影	
	13	個人作成ショートムービー編集	31	ショートムービー撮影、編集	
	14	個人作成ショートムービー発表	32	ショートムービープレビュー	
	15	個人作成ショートムービー発表、総評	33	ショートムービー完成プレビュー、総評	
	16	CM制作概要説明、企画コンテ作成	34	まとめ	
	17	CM制作企画コンテ作成	35	まとめ	
18	CM作成企画発表	36	まとめ		
成績割合	テスト	0%	学習FB方法	前期・後期 成績表送付	
	学習態度・出席率	30%			
	レポート	70%	成績評価	出席率80%以上 S90~100点 A80~89 B70~79点 C60~69点 D59点以下は不合格	
	合計	100%			
P/R/A/G割合	P<<課題解決型学習>>60% R<<実働実践型学習>>20% A<<主体的参加型学習>>20% G<<海外体感型学習>>0%				
講師プロフィール	ミュージックビデオの監督としてキャリアをスタートさせ、現在はニッスイ、資生堂、明治などのWEB CM、SNS広告で監督を務めている。				

シラバス

科目名	動画編集 I		担当者名	鳥羽 茉李奈、相澤 一喜、古川 農	
学 科	映像メディア学科 動画クリエイターコース		授業方法	講義	
認定単位 開講学年	2単位 1学年	開講期 必・選	前期 必選	授業時間数	72時間
授業目的	動画クリエイターとしての基礎知識からデザイン力まで幅広く学び、実際に制作をして技術を習得する				
授業目標 (ラーニング アウトカムズ)	己の欲求や好みだけではなく他者の需要を理解し制作するという基本を学ぶ。 その中にどのようにしてオリジナリティー、センスを光らせるか、考え、行動する。				
授業概要	良質な動画を制作するための基礎を学ぶ。 また、どのようにして日々勉強するか、アイデアを得るか、クリエイターとしての勉強方法を学ぶ。				
授業 計画 表	授業内容			授業内容	
	1	オリエンテーション	19	インフォグラフィックス③	
	2	オリエンテーション	20	インフォグラフィックス④	
	3	オリエンテーション	21	前期総括/講評	
	4	好きな動画紹介①	22	前期復習	
	5	好きな動画紹介②	23	Adobe After Effects エフェクト学習①	
	6	動画制作におけるカラーコードを学ぶ	24	Adobe After Effects エフェクト学習②	
	7	構成の作り方の説明	25	After EffectsとPremiere Proの連携	
	8	テクノスカレッジPR動画制作①	26	リックビデオの分析①	
	9	テクノスカレッジPR動画制作②	27	リックビデオの分析②	
	10	テクノスカレッジPR動画制作③	28	自主制作①	
	11	テクノスカレッジPR動画制作 批評会①	29	自主制作②	
	12	テクノスカレッジPR動画制作 批評会②	30	自主制作③	
	13	Adobe After Effects 基本操作①	31	自主制作④	
	14	Adobe After Effects 基本操作②	32	自主制作⑤	
	15	Adobe After Effects 基本操作③	33	自主制作⑥	
	16	Adobe After Effects 基本操作④	34	自主制作⑦	
	17	インフォグラフィックス①	35	自主制作⑧	
18	インフォグラフィックス②	36	自主制作⑨		
成績割合	テスト	30%	学習FB方法	前期・後期 成績表送付	
	学習態度・出席率	30%			
	レポート	40%	成績評価	出席率80%以上 S90~100点 A80~89 B70~79点 C60~69点 D59点以下は不合格	
	合計	100%			
P/R/A/G割合	P<<課題解決型学習>>30% R<<実働実践型学習>>0% A<<主体的参加型学習>>70% G<<海外体感型学習>>0%				
講師プロフィール	テロップデザイナー、エディターとしてテレビ制作におけるポストプロダクションで活躍。 バラエティー・スポーツ・ドキュメンタリーと、番組のジャンルを問わず幅広く携わっている。				

シラバス

科目名	基礎ゼミ I		担当者名	鈴木 新吾、相澤 一喜、古川 農	
学 科	映像メディア学科 動画クリエイターコース		授業方法	実習	
認定単位 開講学年	4単位 1学年	開講期 必・選	後期 必選	授業時間数	72時間
授業目的	個人の技術の向上と、自由な発想で映像表現し、他者による評価や反応で表現力を深める。				
授業目標 (ラーニング アウトカムズ)	物語性のある映像作品を個人、少人数で制作し、企画、シナリオ、演出、撮影、編集までの行程を学習し総合的な技術を高める。				
授業概要	前期は個人の技術向上を中心に課題を与え、映像のみで状況や感情を表現する方法を学び、後期には少人数で映像作品を制作しyoutubeなどに公開、自己表現と他者へ向けた映像表現の違いを学ぶ。				
授業計画表	授業内容			授業内容	
	1	オリエンテーション	19	CM作成企画発表	
	2	オリエンテーション	20	CM制作グループ構成	
	3	オリエンテーション	21	CM制作撮影	
	4	ガイダンス	22	CM制作撮影	
	5	カメラの種類、撮影技法(アングル、サイズ)についての講義	23	CM制作撮影、編集	
	6	カメラフォーマットの違い、スマホ撮影の講義(フルHD、4K)	24	CM制作プレビュー、ディスカッション	
	7	カメラフォーマットの違い、スマホ撮影の講義(フルHD、4K)	25	CM制作完成プレビュー、総評	
	8	個人作成ショートムービー企画	26	ショートムービー企画	
	9	個人作成ショートムービー企画発表	27	ショートムービー企画	
	10	個人作成ショートムービー撮影	28	ショートムービー撮影準備	
	11	個人作成ショートムービー撮影	29	ショートムービー撮影	
	12	個人作成ショートムービー編集	30	ショートムービー撮影	
	13	個人作成ショートムービー編集	31	ショートムービー撮影、編集	
	14	個人作成ショートムービー発表	32	ショートムービープレビュー	
	15	個人作成ショートムービー発表、総評	33	ショートムービー完成プレビュー、総評	
	16	CM制作概要説明、企画コンテ作成	34	まとめ	
	17	CM制作企画コンテ作成	35	まとめ	
18	CM作成企画発表	36	まとめ		
成績割合	テスト	0%	学習FB方法	前期・後期 成績表送付	
	学習態度・出席率	305%			
	レポート	70%	成績評価	出席率80%以上 S90~100点 A80~89 B70~79点 C60~69点 D59点以下は不合格	
	合計	100%			
P/R/A/G割合	P<<課題解決型学習>>60% R<<実働実践型学習>>20% A<<主体的参加型学習>>20% G<<海外体感型学習>>0%				
講師プロフィール	ミュージックビデオの監督としてキャリアをスタートさせ、現在はニッスイ、資生堂、明治などのWEB CM、SNS広告で監督を務めている。				

シラバス

科目名	映像技法		担当者名	鈴木 新吾、相澤 一喜、古川 農	
学 科	映像メディア学科 動画クリエイターコース		授業方法	実習	
認定単位 開講学年	2単位 1学年	開講期 必・選	前期 必選	授業時間数	72時間
授業目的	個人の技術の向上と、自由な発想で映像表現し、他者による評価や反応で表現力を深める。				
授業目標 (ラーニング アウトカムズ)	物語性のある映像作品を個人、少人数で制作し、企画、シナリオ、演出、撮影、編集までの行程を学習し総合的な技術を高める。				
授業概要	前期は個人の技術向上を中心に課題を与え、映像のみで状況や感情を表現する方法を学び、後期には少人数で映像作品を制作しyoutubeなどに公開、自己表現と他者へ向けた映像表現の違いを学ぶ。				
授業計画表	授業内容			授業内容	
	1	オリエンテーション	19	CM作成企画発表	
	2	オリエンテーション	20	CM制作グループ構成	
	3	オリエンテーション	21	CM制作撮影	
	4	ガイダンス	22	CM制作撮影	
	5	カメラの種類、撮影技法(アングル、サイズ)についての講義	23	CM制作撮影、編集	
	6	カメラフォーマットの違い、スマホ撮影の講義(フルHD、4K)	24	CM制作プレビュー、ディスカッション	
	7	カメラフォーマットの違い、スマホ撮影の講義(フルHD、4K)	25	CM制作完成プレビュー、総評	
	8	個人作成ショートムービー企画	26	ショートムービー企画	
	9	個人作成ショートムービー企画発表	27	ショートムービー企画	
	10	個人作成ショートムービー撮影	28	ショートムービー撮影準備	
	11	個人作成ショートムービー撮影	29	ショートムービー撮影	
	12	個人作成ショートムービー編集	30	ショートムービー撮影	
	13	個人作成ショートムービー編集	31	ショートムービー撮影、編集	
	14	個人作成ショートムービー発表	32	ショートムービープレビュー	
	15	個人作成ショートムービー発表、総評	33	ショートムービー完成プレビュー、総評	
	16	CM制作概要説明、企画コンテ作成	34	まとめ	
	17	CM制作企画コンテ作成	35	まとめ	
18	CM作成企画発表	36	まとめ		
成績割合	テスト	0%	学習FB方法	前期・後期 成績表送付	
	学習態度・出席率	30%			
	レポート	70%	成績評価	出席率80%以上 S90~100点 A80~89 B70~79点 C60~69点 D59点以下は不合格	
	合計	100%			
P/R/A/G割合	P<<課題解決型学習>>60% R<<実働実践型学習>>20% A<<主体的参加型学習>>20% G<<海外体感型学習>>0%				
講師プロフィール	ミュージックビデオの監督としてキャリアをスタートさせ、現在はニッスイ、資生堂、明治などのWEB CM、SNS広告で監督を務めている。				

シラバス

科目名	基礎ゼミ I		担当者名	鈴木 新吾、相澤 一喜、古川 農	
学 科	映像メディア学科 映像ビジネス・大学コース		授業方法	ゼミ	
認定単位 開講学年	4単位 1学年	開講期 必・選	後期 必選	授業時間数	72時間
授業目的	個人の技術の向上と、自由な発想で映像表現し、他者による評価や反応で表現力を深める。				
授業目標 (ラーニング アウトカムズ)	物語性のある映像作品を個人、少人数で制作し、企画、シナリオ、演出、撮影、編集までの行程を学習し総合的な技術を高める。				
授業概要	前期は個人の技術向上を中心に課題を与え、映像のみで状況や感情を表現する方法を学び、後期には少人数で映像作品を制作しyoutubeなどに公開、自己表現と他者へ向けた映像表現の違いを学ぶ。				
授業 計画 表	授業内容			授業内容	
	1	オリエンテーション	19	CM作成企画発表	
	2	オリエンテーション	20	CM制作グループ構成	
	3	オリエンテーション	21	CM制作撮影	
	4	ガイダンス	22	CM制作撮影	
	5	カメラの種類、撮影技法(アングル、サイズ)についての講義	23	CM制作撮影、編集	
	6	カメラフォーマットの違い、スマホ撮影の講義(フルHD、4K)	24	CM制作プレビュー、ディスカッション	
	7	カメラフォーマットの違い、スマホ撮影の講義(フルHD、4K)	25	CM制作完成プレビュー、総評	
	8	個人作成ショートムービー企画	26	ショートムービー企画	
	9	個人作成ショートムービー企画発表	27	ショートムービー企画	
	10	個人作成ショートムービー撮影	28	ショートムービー撮影準備	
	11	個人作成ショートムービー撮影	29	ショートムービー撮影	
	12	個人作成ショートムービー編集	30	ショートムービー撮影	
	13	個人作成ショートムービー編集	31	ショートムービー撮影、編集	
	14	個人作成ショートムービー発表	32	ショートムービープレビュー	
	15	個人作成ショートムービー発表、総評	33	ショートムービー完成プレビュー、総評	
	16	CM制作概要説明、企画コンテ作成	34	まとめ	
	17	CM制作企画コンテ作成	35	まとめ	
	18	CM作成企画発表	36	まとめ	
成績割合	テスト	0%	学習FB方法	前期・後期 成績表送付	
	学習態度・出席率	305%			
	レポート	70%	成績評価	出席率80%以上 S90~100点 A80~89 B70~79点 C60~69点 D59点以下は不合格	
	合計	100%			
P/R/A/G割合	P<<課題解決型学習>>60% R<<実働実践型学習>>20% A<<主体的参加型学習>>20% G<<海外体感型学習>>0%				
講師プロフィール	ミュージックビデオの監督としてキャリアをスタートさせ、現在はニッスイ、資生堂、明治などのWEB CM、SNS広告で監督を務めている。				

シラバス

科目名	映像技法		担当者名	鈴木 新吾、相澤 一喜、古川 農	
学 科	映像メディア学科 映像ビジネス・大学コース		授業方法	実習	
認定単位 開講学年	2単位 1学年	開講期 必・選	前期 必選	授業時間数	72時間
授業目的	個人の技術の向上と、自由な発想で映像表現し、他者による評価や反応で表現力を深める。				
授業目標 (ラーニング アウトカムズ)	物語性のある映像作品を個人、少人数で制作し、企画、シナリオ、演出、撮影、編集までの行程を学習し総合的な技術を高める。				
授業概要	前期は個人の技術向上を中心に課題を与え、映像のみで状況や感情を表現する方法を学び、後期には少人数で映像作品を制作しyoutubeなどに公開、自己表現と他者へ向けた映像表現の違いを学ぶ。				
授業計画表	授業内容			授業内容	
	1	オリエンテーション	19	CM作成企画発表	
	2	オリエンテーション	20	CM制作グループ構成	
	3	オリエンテーション	21	CM制作撮影	
	4	ガイダンス	22	CM制作撮影	
	5	カメラの種類、撮影技法(アングル、サイズ)についての講義	23	CM制作撮影、編集	
	6	カメラフォーマットの違い、スマホ撮影の講義(フルHD、4K)	24	CM制作プレビュー、ディスカッション	
	7	カメラフォーマットの違い、スマホ撮影の講義(フルHD、4K)	25	CM制作完成プレビュー、総評	
	8	個人作成ショートムービー企画	26	ショートムービー企画	
	9	個人作成ショートムービー企画発表	27	ショートムービー企画	
	10	個人作成ショートムービー撮影	28	ショートムービー撮影準備	
	11	個人作成ショートムービー撮影	29	ショートムービー撮影	
	12	個人作成ショートムービー編集	30	ショートムービー撮影	
	13	個人作成ショートムービー編集	31	ショートムービー撮影、編集	
	14	個人作成ショートムービー発表	32	ショートムービープレビュー	
	15	個人作成ショートムービー発表、総評	33	ショートムービー完成プレビュー、総評	
	16	CM制作概要説明、企画コンテ作成	34	まとめ	
	17	CM制作企画コンテ作成	35	まとめ	
18	CM作成企画発表	36	まとめ		
成績割合	テスト	0%	学習FB方法	前期・後期 成績表送付	
	学習態度・出席率	30%			
	レポート	70%	成績評価	出席率80%以上 S90~100点 A80~89 B70~79点 C60~69点 D59点以下は不合格	
	合計	100%			
P/R/A/G割合	P<<課題解決型学習>>60% R<<実働実践型学習>>20% A<<主体的参加型学習>>20% G<<海外体感型学習>>0%				
講師プロフィール	ミュージックビデオの監督としてキャリアをスタートさせ、現在はニッスイ、資生堂、明治などのWEB CM、SNS広告で監督を務めている。				

シラバス

科目名	音響 I		担当者名	秋元 孝夫、相澤 一喜、古川 農	
学 科	映像メディア学科 映像ビジネス・大学コース		授業方法	講義	
認定単位 開講学年	2単位 1学年	開講期 必・選	必選	授業時間数	72時間
授業目的	テレビ、放送、ポストプロダクション業界で必要な音声、音響に関する知識、理論を学ぶ。				
授業目標 (ラーニング アウトカムズ)	実際に聞こえる音(心理音響)～電気音響(アナログ信号)～デジタル分野、無線電波まで音に関する基礎的な知識を広く身につける。				
授業概要	講義形式で展開、第一録音スタジオ、TVスタジオ等にて一部実演あり。				
授業計画表	授業内容			授業内容	
	1	オリエンテーション	19	インピーダンス	
	2	オリエンテーション	20	インピーダンスの整合	
	3	オリエンテーション	21	音声分配、分岐システム、ADA、スプリッタ	
	4	音について	22	中継、収録システム	
	5	音の三要素	23	スタジオマルチトラック録音	
	6	音の聞こえ方、感じ方、人の聴覚特性	24	ダイナミクスエフェクトについて、コンプ、リミッタ、ゲート、エキスパンダ	
	7	音波、波長、波形	25	サラウンドシステム	
	8	音声信号＝電気信号	26	デジタルオーディオ	
	9	バランス回路、伝送、位相について	27	デジタルオーディオ伝送、記録	
	10	電気を音にする、スピーカーのしくみ	28	デジタルオーディオデータ、ファイル	
	11	スピーカーシステム	29	FPU/ワイヤレスシステム	
	12	音を電気に変える、マイクの特性、種類、用途	30	FPU/ワイヤレスシステム	
	13	ダイナミックマイクの仕組み、特性、用途	31	MAについて	
	14	コンデンサマイクのしくみ、特性、用途	32	MAの概念と作業の進め方	
	15	音の大きさ、デシベル	33	適正テレビ音声/ラウドネスレベル	
	16	マイクレベル、ラインレベル、スピーカーレベル	34	まとめ	
	17	PAシステムについて	35	まとめ	
18	増幅回路、各種アンプ、その必要性	36	まとめ		
成績割合	テスト	80%	学習FB方法	前期・後期 成績表送付	
	学習態度・出席率	20%			
	レポート	0%	成績評価	出席率80%以上 S90～100点 A80～89 B70～79点 C60～69点 D59点以下は不合格	
	合計	100%			
P/R/A/G割合	P<<課題解決型学習>>80% R<<実働実践型学習>>20% A<<主体的参加型学習>>0% G<<海外体感型学習>>100%				
講師プロフィール	現役フリーランスエンジニア、ライブ/コンサート収録、PA、スタジオ録音等をこなす。 職務経歴30年以上の経験で、業界で必要な知識と理論を伝える。				